

重層的支援体制とヤングケアラーを取り巻く現状から『子どもの権利擁護』を考える

本研修は、子ども家庭福祉の中でも「重層的支援体制」と「ヤングケアラー」の2つのテーマに焦点を当て、所属団体や分野を超えて、子どもの権利擁護について学び、自らの実践を振り返り、そして共に検討していくことで、他分野（他団体）の取り組み等の共通理解を深め、子どもの権利擁護の推進を図ること、その示唆を得ることを目的に本研修を実施します。

《1日目：地域共生社会における子ども家庭福祉》

子どもの福祉体制は、児童虐待防止法の制定を機に、児童相談所や市町村、学校や保育所など子どもを取り巻く機関の支援力や連携体制を強化することにより、改善されてきました。しかし、その体制の中でも、保育所等に所属していない乳幼児、中卒児や高校中退した児童などへの支援は途切れがちとなる傾向にあります。また、20歳前後の若者の生活問題に対する支援方策は未だ十分とはいえない状況だと感じられます。「スキマ問題」とも呼ぶべき、これらの状況が、重大事件や虐待の連鎖問題、8050問題、若者の貧困問題などを発生させる要因にもなります。

国は2017年に成立した改正社会福祉法により市町村が包括的な支援体制づくりに努めることを規定し、この支援体制づくり（重層的支援体制整備）は、住民や支援団体、行政の保健福祉関係部署が有機的につながり、縦割りを排除するとともに、すべての住民を包括する支援体制の構築を目指すものとされました。この新たな取り組みを、子ども問題のスキマを埋め、深刻な事態を減らす仕組みとして構築することが、私たち、子どもの福祉に関わるものに課された重要な課題であります。

本研修では、重層的支援体制整備事業と子どもの福祉問題に詳しい3名の実践者の講義の後、この3名と受講者による議論を通じて実効性のある重層的支援の仕組みのあり方を検討します。

《2日目：ヤングケアラー 子どもたちを取り巻く現状（予定）》

昨今「ヤングケアラー」の研修は、全国様ざまなところで行われています。

厚生労働省は令和2年初めて実態調査を行い、令和3年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業「多機関連携によるヤングケアラーへの支援の在り方に関する調査研究」の検討の末、2022年3月「多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル～ケアを担う子どもを地域で支えるために～」を作成しました。

日頃からソーシャルワーカーは多くのケアラーに接することがありますが、私たちはケアラー一人ひとりの生活や人権についてどれほど心を砕いているのでしょうか。ことさら、若いケアラーたちがこれほど注目されるまでの間、どのように支援を行ってきたのでしょうか。本研修では、我々ソーシャルワーカーの実践を顧み、今ここでヤングケアラーにとって必要な支援についてします。

1. 開催日時：2022年11月3日（木祝）および11月27日（日）
2. 実施方法：Zoomによるオンライン形式
3. 受講対象：日本ソーシャルワーカー連盟の構成団体(※)に所属するソーシャルワーカー

※日本ソーシャルワーカー連盟の構成団体とは、

- ・日本社会福祉士会
- ・日本精神保健福祉士協会
- ・日本医療ソーシャルワーカー協会
- ・日本ソーシャルワーカー協会

以上の4団体です。

（日本社会福祉士会の場合は、都道府県社会福祉士会に所属していること）



4. プログラム：下表のとおり。(時間等は予定です。当日までに変更がある場合がありますが、ご了承ください。)

● 11月3日(木祝)

時 間	内 容
10:00~10:10	10分 オリエンテーション、開会挨拶
10:10~11:00	50分 講義：重層的支援体制整備事業の現状と課題 講師：中井 俊雄 氏（ノートルダム清心女子大学准教授）
11:00~11:10	10分 休憩
11:10~12:00	50分 講義：子どもへの支援からみえるスキマ問題～負の連鎖を防ぐために 講師：清水 克之 氏（福山市役所ネウボラ推進課）
12:00~12:10	10分 休憩
12:10~13:00	50分 講義：大人への支援からみるスキマ問題～見えない問題にどう対処するか 講師：勝部 麗子 氏（豊中市社会福祉協議会）
13:00~14:00	60分 昼食休憩
14:00~15:00	60分 シンポジウム 《テーマ：子どもたちの地域共生社会》 コーディネーター：山縣 文治 氏（関西大学教授） シンポジスト：中井 俊雄 氏、清水 克之 氏、勝部 麗子 氏
15:00~15:30	30分 講師と受講者による討議
15:30~15:40	10分 閉会

● 11月27日(日)

時 間	内 容
9:30~9:40	10分 オリエンテーション、開会挨拶
9:40~10:40	60分 講義：ヤングケアラー 子どもたちを取り巻く現状 講師：加藤 雅江 氏（杏林大学教授）
10:40~10:45	5分 休憩
10:45~12:25	100分 実践報告：各実践領域における支援の実際 報告者：子どもを取り巻く各分野の実践者からの実践報告
12:25~13:25	60分 昼食休憩
13:25~15:35	180分 途中休憩有 演習：事例を用いたグループ討議
15:35~15:40	5分 休憩
15:40~16:20	40分 社会への発信
16:20~16:30	10分 閉会

5. 定 員：100名（先着順）

6. 受講費：10,000円（資料代を含む）

7. 申込方法：下記のQRコードまたはURLから、本研修の申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上、お申し込みください。

〈QRコード〉



〈URL〉

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=oard-letflj-378546b4a925c177ca9bceec80d7e2146>

8. 申込締切：2022年9月28日(水)

※定員数を大きく超える受講希望がある場合は、申込期限内でも締め切りとさせていただきます。

9. 受講可否：受講の可否は、10月上旬頃に、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、

受講費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。

※受講希望が少ない場合は、開催しないことがあります。

10. 留意事項：・本研修の受講には、PC またはスマートフォン等の機器と、インターネットに接続できる環境が必要です。＜受講に必要な機材の例＞は以下のとおりです。マイク及びカメラがない場合でも受講可能ですが、質問等がある場合に対応いたしかねますので、予めご承知置きください。

＜受講に必要な機材の例＞ ※以下のいずれかを満たしていることが必要です。

- ・内蔵または外付けカメラ+WindowsPC (Windows8.1 または 10)
 - ・内蔵または外付けカメラ+Mac (OS10.13 以降)
 - ・内蔵カメラ+iPad (iOS12 または iPadOS)
 - ・内蔵カメラ+タブレット (Android7 以降)
 - ・内蔵カメラ+スマートフォン
 - ・現在は所有していないが、研修までに購入する予定
- ・インターネット環境も各自で準備ください。通信料等は各自の負担になります。なお、使用する機器や各種契約により、通信料が高額になる場合も想定されますので、予め確認してください。
- ・本研修では、Zoom ウェビナーを使用しますので、事前に Zoom アプリをダウンロードしてください。Zoom アプリをダウンロードしたら、接続テストを行うことを推奨します。
- なお、本研修の受講だけであれば、Zoom アカウントの取得 (サインアップ) は不要です。

＜Zoom テスト用 URL : <https://zoom.us/test>＞

- ・自然災害の発生等により、本研修を中止することがあります。本研修が中止となった場合は、受講費の返金を行います。
- ・通信環境・通信機器等の原因により、当日受講できない場合の返金は、対応いたしかねますので、予めご承知置きください。
- ・申し込みされた個人情報、本研修の運営以外の目的には使用しません。

12. 主 催：日本ソーシャルワーカー連盟

13. 問 合 先：(公社) 日本社会福祉士会 生涯研修センター (開局時間：月～金曜日 10：15～16：15)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-13 カタオカビル 2F

TEL:03-3355-6541 e-mail : kenshu-center@jacsw.or.jp

